

## 第3回 新しい時代の公益法人制度の在り方に関する有識者会議

### 議事概要

日 時：令和4年10月25日（火）13:00～15:15

場 所：虎ノ門37森ビル 12階会議室 ※オンライン併用

有識者：【会議室出席】

両宮孝子座長、高山昌茂座長代理、岡野貞彦委員、菅野文美委員、溜箭将之委員、永沢裕美子委員、濱口博史委員、黒田かをりオブザーバー、松前江里子専門委員

【オンライン出席】

酒井香世子委員、澁谷雅弘委員、長谷川知子委員、松元暢子委員

内閣府：田和宏事務次官、井上裕之内閣府審議官、北川修公益法人行政担当室長

#### 【議事】

(1) 法人からのヒアリング

・(公財)パブリックリソース財団

(2) 委員プレゼンテーション

・岡野委員

「経済同友会の組織運営の現状と課題：自律的ガバナンス構築への模索」

・菅野委員

「インパクト測定・マネジメントの現状と公益法人による活用可能性」

(3) 法人の自律的ガバナンスの現状と課題について

(4) 意見交換

#### 【主な概要】

(1) 法人からのヒアリング

・(公財)パブリックリソース財団

法人から資料1に沿って、非営利組織におけるガバナンスにおいては、「単にルールに沿う、不祥事を防ぐだけでなく、インパクトを与えるようなガバナンスであること」、「意思決定、執行、監査が明確に分けられていること」、「理事会の活性化を図ること」等が重要との意見があった。

また、事業の変更認定申請と変更届出の違いを多くの公益法人において正しく理解されているとは言えないことが、柔軟な対応を困難にしているのではないかとの意見があった。

(委員からの個人が法人の活動をチェックするのは困難なため、個人に代わって法人の活動をチェックし、個人の寄附を配分する取組は大事との発言について)個人が法人の活動についてわかりやすくアクセスできるデータベースを作っていくことが重要との発言

があった。

## (2) 委員プレゼンテーション

### ・岡野委員

岡野委員から資料2に沿って経済同友会の組織運営の現状と課題の紹介があった。また、外部理事を活用して内部統制を行っている事例の紹介もあった。

### ・菅野委員

菅野委員から資料3に沿って、インパクト測定・マネジメントの現状と公益法人による活用可能性について、事例も紹介しつつ、説明があった。

## (3) 法人の自律的ガバナンスの現状と課題について

事務局から資料4に沿って、公益法人における自律的ガバナンスの方向性検討（5、6ページ）及び機関設計、透明性向上・DX推進について説明を行った。

## (4) 意見交換

各委員から、

- ・企業役員は十分な報酬とともに責任も負うが、他方、公益法人はほぼ無給で役員を務める方が多い。役員になってもらう方には、法人の活動について関心を持ち、好きになってもらうことが重要。
- ・情報開示が重要であるとともに、ミッション・バリューを一覧的に見ることのできるデータベースがあるとよい。社会のチェックも入れることで法人の活動の周知にもつながり、ひいては公益法人運営への有用な人材登用にもつながると考えられる。
- ・現行制度は公益法人、NPO法人、一般法人と縦割りになっているが、これらを横串にすることは難しいか。
- ・公益認定等委員会のためだけではなく、セオリー・オブ・チェンジといったインパクト測定・マネジメントにも拡張できるような、公益法人のためにもなるシステムの構築、DXの推進を進めてもらいたい。
- ・評議員会が公益財団法人の最高議決機関ということに違和感。評議員の位置付けについてはよく議論すべき。

等の意見があった。